



## 終業式でのメッセージ ~どう感じたかは、自分次第~

苫小牧市立啓明中学校長 大橋 祐之

2学期は、「学校祭」という価値あるイベントがありました。1年生の成長の跡、2年生の中堅学年としての取組、そして、3年生の後輩たちに伝統・文化を引き継ぐがごとくの発表等、どれをとっても、生徒の皆さんの計り知れない底力を感じる場面となりました。

そうした中で、私が何よりもうれしく思うことは、この2学期、大きな事故などがなく、生徒の皆さんが元気に学校生活を送ったことです。

昨年度は、この場を借りて、「北海道胆振東部地震」を取り上げ、命の尊さについても、お話しさせていただきました。

今年度は、12月13日（金）に実施した「命の授業」からお話しさせていただきます。

その授業では、山岸教頭先生から「白血病との戦い」を通して、その現実や様々な思いが語られました。皆さんはどのように感じたのでしょうか。「たとえ生存率が7%であっても『生きてやる!』」。……「家族のために」、そして「自分を支えてくれた人のために」、「自分の好きな教育の世界に戻るために」……。

私は、「生きることの尊さ」について、問いかけてくれた授業であったと思っています。「今はつらくとも、乗り越える・乗り越えられる理由がある!」と。

この授業を通して、どう感じたかは、自分次第です。授業を終え、体育館から教室に戻っていく皆さんは「いい顔」していました。

まとめ

『生きる』ことについて...  
あなたは今まで何を考えて生きてきましたか?  
この時間であなたが感じたことは何ですか?  
これから先、どのように生きていきますか?

1月14日（火）に皆さんの元気な笑顔に出会えることを楽しみにしています。

生徒に示した授業のまとめ

## 「命の授業」~生徒の感想~

### 1年生

- ・白血病は、死んでしまう病気だと思っていた。いろいろな治療法があるということに驚いた。
- ・「二人に一人はがんになる」ことを初めて知った。自分の生活を見直していきたい。
- ・「生きること」「命」について、深く考えたことはなかった。自分が生きていることに感謝したい。
- ・自分が「つらい!」と言っていることの軽さを考えさせられた。
- ・「この病気は治る」と、思い続けた教頭先生がすごい。
- ・支える周りの人たちもすごいと思った。
- ・献血するのが怖いと思っていたが、献血する勇気が出た。
- ・周りの人が病気になると悲しい。「たばこやお酒」をやめてほしいと言いたい。
- ・教頭先生が生きているのは、高額な宝くじが当たるよりもすごいことなんだと思った。

### 2年生

- ・白血病などのがんの患者さんを献血や骨髄移植で救うことができると可能性があることが分かった。
- ・「感動」以外の言葉が見つからない。
- ・がんは一度よくなっても、再発してしまうことがあることが分かった。テレビなどで「ステージ4」という話を聞くが、早めの検査が必要だと思った。
- ・改めて、白血病という病気がどういふものかが分かった。何事も諦めないことが大事だと思った。
- ・家族の思いを感じ、その大切さを感じた。今日の授業で「いのち」と向き合うことができた。
- ・「周りの3人が亡くなり、自分だけが生きている」と聞いて、とても悲しくなった。自分も献血をしたり、ドナーになったりしようと思う。
- ・諦めないことが大事。成功率の低い手術やいつ死ぬか分からない中で、前向きな行動ができるのはすごいと思った。

### 3年生

- ・何回も再発して、厳しい立場におかれても、最後まで諦めなかったのはすごいと思った。
- ・一番説得力のある体験を直接聞くことができ、改めて生きることに「ハッ」とさせられた。
- ・自分が大人になったら献血をしたい。
- ・「絶対に諦めない」という教頭先生の気持ちがすごく伝わってきた。
- ・がんの予防方法を意識して生活したい。
- ・生きていることが当たり前ではないことが分かった。正直、自分だったら闘病生活には耐えられないと思う。
- ・家族や自分の好きな仕事のために「生きたい」との強い思いが素敵だった。
- ・今日のこの時間を大切にしたい。
- ・「看護師さんの笑顔に救われた」の言葉から、病気の治療は医学的なものだけではないと思った。

# 校外学習・外部講師の活用

# 3年生の授業から

3年生で行われた授業の一コマです。教室での授業の時とはまた違う発見、気づきがありました。

## 3年【マナー講座(進路)】



入試の際に実施される面接対策として毎年実施しています。マナーや身だしなみ、面接の時の心構えについて講話をいただきました。

協力：飛鳥未来高校(11/22 実施)

## 3年【金融教室(社会)】



個人や企業の経済活動を支える金融の仕組みとその働きについて、家計の貯蓄や企業への融資、クレジットカードや電子決済等の話を交えながら説明していただきました。

協力：苫小牧信用金庫(11/29 実施)

## 3年【幼稚園実習(家庭)】



幼児との触れ合いを通して、幼児の発達と生活の特徴、子供が育つ環境としての家族の役割について、自分たちのこれまでの成長を振り返りながら理解を深めていました。

協力：青空幼稚園(12/5,6,9 実施)

# 道徳教育の推進

道徳教育では生徒たちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きていくための基盤となる道徳性を養うことを目標としております。(学校だより第8号参照) 内容については、①自分自身に関すること、②人との関わりに関すること、③集団や社会との関わりに関すること、④生命や自然、崇高なものとの関わりに関することについて学習しております。本校では教室で行う授業のみならず、専門的な知識を持つ方や、実際に経験した方のエピソードを聞くことで学習内容の充実を図っています。(写真右)

# 考え議論する道徳を目指して

## 2年【デートDV防止講座】



交際中の若年層における暴力の実情について理解を深め、望ましい交際やコミュニケーションの在り方について、ロールプレイを交えながら学びました。

協力：ウイマス 結(11/28 実施)

## 全校・地域公開【命の授業】



本校教頭が自身の闘病体験について、様々な視点から感じたこと生徒に伝えました。

資料提供：日本骨髄バンク

北海道赤十字血液センター  
(12/13 実施)

## 冬休みの生活(詳しくは生活部通信「リスペクト」をご覧ください)

- 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯・快便・適度な運動と睡眠・家庭学習・お手伝い)
- 校外生活のきまりの遵守(事故防止・非行防止)
- 身の回りの安全確認(交通安全(冬型の事故防止)・けが防止・不審者変質者対策)

## ☆啓明中の活躍☆

【バレーボール部】北海道ジュニアキャンプ2次出場(1月8~10日:芦別市)

【アイスホッケー部】北海道中学校体育大会出場(12月20~23日:帯広市)

【中学生の「税の作文」】苫小牧地区法人会会長賞 さん

【中学生主張発表大会】努力賞 さん, 文集掲載 くん



## 子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

● 電話相談 0120-3882-56(無料、毎日、24時間対応)

● メール相談 [doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp](mailto:doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp)

● 来所相談 札幌市中央区北3西7 道庁別館8F

(上記の電話番号で要予約、10~16時、土・日、祝日休)

## 1月行事予定

- 14日(火) 始業式 ALT(1/22まで)
- 15日(水) 学年末テスト(3年)
- 17日(金) 職員会議
- 21日(火) 中央・常任委員会
- 24日(金) 英語検定
- 27日(月) 職員会議
- 28日(火) 職員会議
- 30日(木) 全校集会(6h)

ホームページもご覧ください

URL ... <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/keimei/>